

子育て支援だより

「子育てワンポイントアドバイス」

第79回 「どの子ども成長したがつている」

こころの相談員 前田 里美

子ども達の間でけんかやトラブルがあると、大人は止めに入ったり口を挟んだりしますよね。見守るにしても、どこまで待つべきか、どれくらい大人が関わるべきか難しいところです。何度も繰り返している場合や危険な場合は止めに入って話をするのがベストでしょう。また、観察できるのであれば、どうしてそうなるのか、何が原因なのかがわかると、回避もできるでしょう。家では親がついていますが、園や学校ではいつも大人が見ているとは限らず、自分達で解決する力をつけていきます。確かにトラブルに巻き込まれないに越した事はありませんが、それを積み重ねて人との距離や自分の気持ちの整理・相手の気持ちなどを学んで成長していきます。

また、そんな中にあっても、本当は、子ども達は良くなりたい、成長したいと思っていることは間違いありません。私が学校で子ども達に接していて感じる事。好きでさぼっているわけじゃない、したくてけんかするわけじゃない、本心から反抗しているわけじゃないということです。ほんの少し周りの大人が関わり方を工夫すれば、子ども達のやる気・頑張りはUPするはずですよ。

本人がやりたいと思える現実可能で具体的な目標設定がいいでしょう。そして、「～しない」ではなく「～しよう」と肯定文で言いましょう。例えば、「友だちに嫌だと言葉で伝えよう」「漢字の宿題が終わったら遊びに行く」「全部が無理なら、これだけなら出来る？（と相談して本人に決めさせる）」という感じです。

そして、耳にタコが出来ると聞いていますが、ほめる事はやはり大切です。しかし、このほめ加減が難しいから困ってしまいます。年齢や性格によって、また状況や段階によってほめ方を変えなければなりません。出来た事、良くなった事、そんな頑張っている子どもの姿、そして、あなたを大切に思っている・いつも見ているという親の思いをフィードバック（子ども本人にわかるように伝える）するのが、ほめる事です。「すごいね」ばかりでは変化がありません。そんな時、「どうしてうまくいったの？何か秘密でもあるの？」「今気づいたんだけど〇〇が出来てるよね」「昨日だけでなく今日も続けられてるね」など、現状を伝えながら自尊心をくすぐってみてはいかがでしょうか？『じゃあ、もっと頑張っちゃおうかな』と思わせるように・・・

※前田相談員は、朝日小学校・中学校で相談活動を行っています。

6月活動報告



離乳食教室（前期）

4、5ヶ月の赤ちゃんとお母さんを対象に行っています★

管理栄養士が説明をしながら、実際に重湯やすりつぶした野菜を、お母さん、赤ちゃんが試食します。



*今年度は、8月28日(火)、10月23日(火)、12月25日(火)、2月26日(火)の10:00～11:30に実施する予定です。お申し込みは子育て健康課(TEL377-5652)まで

